

各 位

上場会社名 株式会社ダイサン
 代表者名 代表取締役社長 三浦基和
 (コード番号 4750 大証第2部)
 問合せ先 取締役副社長 金山修二
 (TEL: 06-6243-6341)

減損損失の計上、繰延税金資産の取崩しおよび 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 4 月期において、下記のとおり減損損失の計上および繰延税金資産の取崩しをいたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 21 年 12 月 3 日に公表した業績予想について、下記のとおり修正いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

当社の所有する事業用資産（土地、建物等）のうち、時価が著しく下落したものおよび収益性が低下しているものについて「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、338 百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取崩し

上記特別損失の計上と最近の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討しました結果、繰延税金資産を取崩すことといたしました。これにより法人税等調整額（税金費用）を決算において 203 百万円計上いたしました。

3. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 4 月期通期業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 21 日～平成 22 年 4 月 20 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表 (A)	6,600	130	100	5	0.66
今回修正予想 (B)	5,921	5	△22	△594	△78.53
増減額 (B-A)	△678	△124	△122	△599	
増減率 (%)	△10.3	△95.5	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 4 月期)	7,124	△25	△11	△275	△36.28

(2) 修正の理由

設備投資や雇用への先行き不安、個人消費の冷え込みなどが引き続いており、景気回復への足取りは重く厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、住宅市場環境の回復は当社の予想以上に厳しく、売上高が伸び悩んだことに伴い、営業利益、経常利益ともに前回の予想を下回ることとなりました。また、当期純利益についても、上記減損損失と税金費用の計上により、前回予想を下回ることとなりましたので上記の通り修正いたします。

以 上